

「熱心党のシモン」

12使徒の中に「熱心党と呼ばれたシモン」という人物がいます。彼はペテロと同姓であるが別人で、聖書には彼の言葉は一言も記されていません。この人についての聖書からの情報はただ一つ、彼が「熱心党員」であったということだけです。

イエス様の時代、ユダヤ人社会に影響力をもっていた3つのグループがありました。第一に厳格なユダヤ教信奉者よりなるパリサイ派、次にはユダヤ社会の支配階級を占め既得権を握っていたサドカイ派、それに支配者のローマに激しく憤り、暴力を用いても対抗しようとした過激派集団の熱心党の三つでした。

シモンはその熱心党に強く共感し、そのメンバーとなった熱狂的な愛国者でした。そんな彼を主は12使徒の中に加えられたのです。ところが使徒たちの中には、このシモンとはまるで対極にある人物がいました。それはマタイです。彼はユダヤ人の敵であるローマのために取税人となって同胞から税金を取り立てることを仕事にしていた人でした。

そんなマタイと、彼とは正反対にローマ政府に激しい敵対感を抱く熱心党のシモンとが、12使徒という一つのグループの中で仲良くやっていくことなど到底できることではないと誰もが思うことです。毎日のように口論し、憎み合い、争いも絶えることがない、やがて喧嘩別れするしかない…。

しかし、主は彼らをあえて一つのグループの交わりに中に入れられたのです。確かにイエス様に会う前の二人は互いに敵でありました。しかし、主はそんな二人を造り変えて、互いに受け入れ合い、一つと結び合わせて下さいました。

ここに主イエスの福音の偉大な力をみる事ができるのです。

週報

§ 今年の教会テーマ 「恵みあふれる教会」

§ 今年の主題聖句

「私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けた。」ヨハネ1章16節

〒513-0035 鈴鹿市矢橋町 471-2
宗教法人 日本ネクスト・タウンズ・クルセード
鈴鹿キリスト福音教会
059-383-5145(教会)
080-3706-8433(牧師)

3 月 26 日

【報 告】

- ※ 今週の水曜日の午前 11 時半～12 時半に「いのちのことば社」の移動販売車による信仰図書や信仰グッズなどの出張販売があります。詳しくはチラシをご覧ください。
- ※ 来週 4 月 2 日の日曜日からは受難週となり、9 日の日曜日が今年のイースター（復活祭）となります。主イエス様の十字架の苦難と復活の勝利の恵みを深く覚えつつ過ごす時としていきましょう。
- ※ 4 月 9 日の日曜日:午後 2 時から、四日市文化会館で三浦綾子原作による「われ弱ければ 矢嶋かじ子伝」の上映会（有料）があります。詳しくは掲示板のポスターをご覧ください。

【メモ】

本日のメッセージ

聖書箇所

「主に会ったサウロ」

使徒 9:1～19

使徒 9:1 さて、サウロはなおも主の弟子たちを脅かして殺害しようと息巻き、大祭司のところに行って、9:2 ダマスコの諸会堂宛ての手紙を求めた。それは、この道の者であれば男でも女でも見つけ出し、縛り上げてエルサレムに引いて来るためであった。

9:3 ところが、サウロが道を進んでダマスコの近くまで来たとき、突然、天からの光が彼の周りを照らした。

* 誰をも敵としないで。誰かを憎み、恨んで生きるのは苦しいこと
マタイ 5:43 『あなたの隣人を愛し、あなたの敵を憎め』と言われていたのを、あなたがたは聞いています。しかし、わたしはあなたがたに言います。自分の敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。

サウロは信者たちに対して激しい怒りと憎しみを持っていた。彼にとってイエスを信じる者たちは、とてもそのまま放っておけない敵であった。しかし、そんなサウロを主は生まれ変わらせ、世界宣教の器として用いるという奇跡を行われた。

1. 目が見えなくなったサウロ

⇒彼は闇の中にいた

彼は自分がどこにいて、何をしているかわかっていなかった

彼は神を知っていると思っていたが、本当には知らなかった

2. 弱くされたサウロ

⇒地に倒され、目が見えなくなったため、手を引かれてようやく歩けた

3. 主に従ったアナニヤ

ダマスコの信者たちの指導者であった彼は主の御声に感情と理性ではとうてい従えなかったが、信仰の従順で答えた

彼はサウロを「兄弟サウロ」と呼んだ

⇒敵であったものが、味方以上の兄弟と変えられた。